

一般社団法人愛媛県ハイヤー・タクシー協会「タクシー利用者懇談会」概要

日 時：令和5年4月19日（水）14：00～15：00

場 所：一般社団法人愛媛県ハイヤー・タクシー協会 会議室

出席者：別紙のとおり

1. 議事概要

会長挨拶の後、谷口専務理事が資料に基づき愛媛県におけるタクシー事業の現状及び運賃改定申請の概要等について説明した。

2. 質疑・意見

○金子（一般社団法人愛媛県観光物産協会）

- ・ コロナ禍による団体旅行の激減によりバス会社でもバスを売却したりしてきたが、最近では、個人の国内旅行が少し動き出している。団体旅行はまだ回復していないが需要の回復に伴い、運転手不足という事態が起こっている。タクシーについても帰宅時に以前は駅にタクシーが待機していたが、今はタクシーがいない状態であり、生活の足に支障が出ている。
先ほどの説明では愛媛県で20代の運転者が8名しかいないというのを聞いてショックを受けている。生活者の足としてタクシーを維持する為には適正な運賃が必要であると思う。

○藤本（愛媛県交通運輸産業労働組合協議会）

- ・ 労働組合として働く者の立場から申し上げます。私はバスの運転手をしているが、勤務時間が長く、タクシーも同様であろうと思う。なるべく休みを増やしたいと思うが、それも人手不足によりなかなか難しいのが現状である。元をたどると賃金の問題になってくると思う。グループ会社のタクシー会社では、一部に時給制を導入したり、いろいろと試行錯誤しているが、そのような賃金のしくみについても研究していくことも必要かと思う。

○西田（愛媛県交通運輸産業労働組合協議会）

- ・ 労働力の確保の観点からも、賃金を含めた労働条件の向上については、不可欠であると思う。そのために適正な運賃というものは必要である。

○本銅（愛媛県生活協同組合連合会）

- ・以前は出張ではタクシーを利用していたが、今はそれもなくなっている。帰宅時にタクシーに乗ろうとしても乗れないことも多くなってきている。運転手のなり手がいないということも、賃金がこのレベルということを知りて納得している。タクシーの需要はこれからもあると思うが、いろいろと工夫をしていくことも必要かと思う。
また、運賃の値上げについては、十分理解できるが、運賃の内容について、利用者にPRすることも必要かと思う。

○三好（愛媛県商工会議所連合会 松山商工会議所）

- ・タクシーは地域住民にとって、また観光の街松山にとってなくてはならない重要なインフラであり、エネルギーをはじめとする価格の高騰、またドライバーの待遇などを鑑みると、運賃の値上げはやむを得ないと感じている。
5月8日からは感染症の「2類」から「5類」への引き下げも決定しており、今後社会経済活動の活発化や、国内旅行者、また訪日外国人ともに加速的に回復していくと予想される。ますます、需要が増えてくると思われるので、引き続き、重要な交通インフラを支えていただきたい。

○西田（愛媛県交通運輸産業労働組合協議会）

- ・とにかく、労働条件を良くしていかないと労働力は確保できない。タクシー事業者には労働条件の改善をぜひともお願いしたい。

●渡部会長（一般社団法人愛媛県ハイヤー・タクシー協会）

- ・皆様からご発言のあったように、今後の需要は増えていくのだろうが、供給が追いつかない状況である。今回の運賃改定を機に労働力の確保につとめてまいりたい。

【 閉会挨拶 】

●矢野経営委員長（一般社団法人愛媛県ハイヤー・タクシー協会）

- ・本日はお忙しい中、ご出席をいただきまして誠にありがとうございました。
人材不足が業界の最大の問題となっております。
今回の運賃改定を一助に、労働条件の改善につなげて参りたいと思います。
今後とも公共交通機関として邁進する所存でございますので、何卒、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

閉 会